



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・野菜に関する図書資料を読み、大事な言葉や文を取り出して、まとめる力。

単元における学習の展開 (全 1 2 時間) (学校図書館等を活用した時間に☆印)

第 1 次 (7 時間)	・たんぼぼについて知っていることを伝え合う。 ・初発の感想を書き、単元の見通しを持つ。 ・段落ごとに書かれている内容の大体をとらえる。 ・「たんぼぼ」を読み、根、花、綿毛の「ひみつ」などを読み取る。
第 2 次 (2 時間)	・「たんぼぼのひみつはっ見カード」を作る。
第 3 次 (3 時間)	・生活科で育てている野菜の本や資料を読む。(☆) ・分かったことや伝えたいことをメモする。 ・「野さいのひみつはっ見カード」にまとめる。(本時) ・見つけた「ひみつ」について伝え合い、学習をふりかえる。

本時のねらい

- ・たんぼぼについてどんなことが書かれているかに着目して文章を読み、大体の説明の順序についてとらえる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (5 分)	1. 本時の学習課題を確認する。 ・「たんぼぼのひみつはっ見カード」を作った時に気をつけたことや工夫したことを思い起こす。 ・前時で書いた付箋のメモを準備する。	前時では、自分が育てている野菜のひみつについて、付箋に書いている。
展開 (3 5 分)	2. 付箋のメモを書く順番を考える。 ・時間や事柄の順序について、付箋を操作しながら書く順番を考える。 ・考えた順番をグループで交流する。 ・付箋のメモをもとにひみつについて、「野さいのひみつはっ見カード」にまとめる。 ・完成した「野さいのひみつはっ見カード」を読み合う。	本文の説明の順序に着目させ、植物の育ちの順序で書かれていることをおさえる。
まとめ (5 分)	3. 学習のふりかえりをする。 ・分かったことや気づいたこと、もっとやってみたいことなどについて振り返る。	・生活科で育てている野菜について、今後も本で調べながら世話をするように伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・教材文での学習時から、付箋に短い言葉で「ひみつ」を書き、毎時間の最後にカードに自分の言葉で書きまとめることを繰り返し行なった。付箋を活用することで、順序について考えやすくなった。また、書く意欲が喚起され、書きまとめる作業も少しずつ上手になっていった。
- ・自分の野菜を調べる時に、低学年の子どもたちにとって、分かりやすい図書資料を選ぶようにした。例えば、写真が大きい、解説に「花」「くき」「ね」「み」「たね」など、たんぼぼでの学習と重なる部分が載っている、ふりがな付きの本などを選ぶようにした。
- ・野菜のひみつを調べて付箋に書く時は、「花について」「花がしぼんだらどうなるか」「みについて」と順序性のある事柄に着目させて書くようにした。育つ順序について考えながら、自分が伝えたいことを付箋を操作しながら考えていた。
- ・自分が育てている野菜について調べることもあって、学習意欲が喚起され、調べたことを生かしてお世話している姿が見られた。



ひみつを書いた付箋を使って、カードに書く順番を考えているところ。